

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成23年2月8日			
	総事業費	453,211,605円			
	交付金額	151,070,000円			
	整備対象地域	BBゼロ地域: 下金山地区、金山地区、東鹿越地区、北落合地区、落合地区 BB+CATV難視地域 下金山地区、金山地区、東鹿越地区、幾寅地区、北落合地区、落合地区			
事業の内容	南富良野町は、これまで町内全域のブロードバンドゼロ地域解消に取り組んでおり、住民(ブロードバンド誘致の会)と電気通信事業者と協力し、平成16年に南富良野町中心市街地にADSLサービスが開始された。しかし、ADSLの距離制限等により、その他の地区はADSLが提供されず、ブロードバンド未提供地域が5地区(426世帯)となっており、住民から早期にブロードバンドゼロ解消を要望されていた。このため、地域情報通信基盤整備事業で、町内全域に情報通信基盤整備を実施し、ブロードバンドゼロ地域の解消と地上デジタル放送の難視聴地域の解消を図った。				
BB	サービス開始日	平成23年3月25日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	東日本電信電話株式会社			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	1,460	1,460	1,512	1,445
	加入世帯数	438	584	276	482
加入率(%)	30.0	40.0	18.3	33.4	
CATV	サービス開始日	平成23年3月25日			
	サービス形態	公設公営			
	契約先	-			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	164	164	190	213
	加入世帯数	164	164	190	213
加入率(%)	100.0	100.0	100	100.0	
評価及び課題	<p>【評価】 民間通信事業者では整備が進まなかった地域にも情報通信基盤が整備され、高速ブロードバンドが町全域で利用可能となった。これにより、情報通信分野における格差が解消され、生活環境基盤が飛躍的に向上された。また、地上デジタル放送の移行に伴い、難視聴地域の解消も図られた。 整備計画時の目標は達成されていないが、加入率も年々増加している。</p> <p>【課題】 加入率は、年々増加しているが、整備計画時の目標が達成されていないため、高齢者や未加入世帯に対して、効果的な加入促進が必要である。</p>				